

# 事業報告

## I 法人の概況

### 1. 設立年月日

昭和56年4月27日

### 2. 公益財団法人移行登記日

平成23年4月1日

### 3. 目的

この法人は、医学、薬学、医工学、その他関連諸科学を基礎とし、これら諸科学の医療への応用に関する調査研究及びその助成を行い、もって国民保健に関する科学の進歩及び国民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

### 4. 事業内容

- (1) 疾病の予防、診断、治療における医工学の応用に関する調査研究及びこれらに対する助成。
- (2) 医薬品及び医療技術の開発の動向に関する調査研究及びこれらに対する助成。
- (3) 医薬品及び医療技術に関する資料及び情報の収集整備。
- (4) 疾病の予防、診断、治療及び最新の医療技術に関する学術講演会の開催。

### 5. 所轄官庁

内閣府

### 6. 事業所在地

名古屋市東区東片端町8番地

### 7. 役員等に関する事項

#### (1) 理事及び監事

令和2年3月31日現在 (五十音順)

役職	氏名		現職・担当職務	最終官職
理事長	別所 芳樹	非常勤	株式会社スズケン代表取締役会長	
常務理事	田中 基博	常勤	株式会社スズケン	
理事	梶谷 文彦	非常勤	川崎医科大学名誉教授 AMED 医療機器開発推進研究事業 PS	
理事	河盛 隆造	非常勤	順天堂大学名誉教授	
理事	佐藤 公道	非常勤	京都大学名誉教授	
理事	外山 淳治	非常勤	名古屋大学名誉教授	
理事	二川 一男	非常勤	株式会社日本ヘルスケア総合研究所上席研究員	厚生労働省 事務次官
理事	堀 幹夫	非常勤	岐阜薬科大学名誉教授・岐阜女子大学名誉学長	

役職	氏名		現職・担当職務	最終官職
理事	真崎 知生	非常勤	筑波大学名誉教授・京都大学名誉教授 大阪成蹊大学名誉教授・文化功労者 元国立循環器病研究センター研究所所長	
理事	室原 豊明	非常勤	名古屋大学大学院医学系研究科教授	

役職	氏名		現職・担当職務	最終官職
監事	岡島 光治	非常勤	藤田医科大学名誉教授	
監事	小坂井順生	非常勤	株式会社スズケン財務経理部副部長	

(2) 評議員

令和2年3月31日現在 (五十音順)

氏名		現職・担当職務	最終官職
石川 清	非常勤	名古屋第二赤十字病院名誉院長	
伊澤 芳道	非常勤	株式会社スズケン取締役常務執行役員	
川村 孝	非常勤	京都大学環境安全保健機構健康科学センター長	
児玉 逸雄	非常勤	名古屋大学名誉教授	
齋藤 康	非常勤	千葉市病院事業管理者	
澤 宏紀	非常勤	元鈴鹿医療科学大学学長	国立健康・栄養研究所長
永井 孝明	非常勤	株式会社スズケン執行役員	
秦 克美	非常勤	株式会社三和化学研究所代表取締役社長	
堀田 饒	非常勤	名古屋大学名誉教授・中部労災病院名誉院長	

8. 職員に関する事項

令和2年3月31日現在

職員数	前期末比増減
2名	0名

## II 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

#### (1) 助成金の交付

##### ①調査研究の助成（公益目的事業1）

- a. 令和元年度の調査研究助成の募集は、各大学並びに研究機関へご案内書を送付しホームページに募集要領、助成金申請書を掲載した。
- b. 令和元年度7月1日から7月31日の募集期間で246件の応募があった。
- c. 選考委員による約1ヶ月間の予備審査を経て令和元年10月16日の調査研究助成選考委員会で審査・選考され、同日の理事会において84件総額1億700万円の交付を決定した。  
資料（1）
- d. 助成金の贈呈式を、令和元年12月5日午後5時から名古屋マリオットアソシアホテルにおいて行った。当日は、助成金を交付される研究者84名と財団役員・評議員・顧問・選考委員その他関係者約30名が出席し、田中常務理事の挨拶並びに梶谷選考委員長から選考経過の報告があり、常務理事より各研究者に84件1億700万円を贈呈した。

##### ②疾患別指定研究助成（公益目的事業2）

- a. 令和元年度分の疾患別指定研究助成は、資料（2）のとおり2件各々に500万円、総額1000万円を交付した。

##### ③国際交流助成（公益目的事業3）

- a. 令和元年度の国際交流助成の募集は、ホームページに募集要領、助成金申請書を掲載した。
- b. 令和元年4月1日から4月30日の募集期間で9件の応募があった。
- c. 令和元年5月8日の国際交流助成選考委員会で審査・選考され、6月13日の理事会において5件総額500万円の助成金を決定し交付した。資料（3）

##### ④心電学に関する助成（公益目的事業4）

- 令和元年6月13日の心電学助成選考委員会で審査・選考され、同日の理事会において1件総額150万円の助成金を決定し交付した。  
資料（4）

## (2) 学術講演会の開催（公益目的事業5）

### ① 第76回学術講演会の開催

令和元年7月3日午後6時よりホテルブエナビスタ松本において「第76回学術講演会」を長野県医師会の後援を得て開催し290名余の参加者があった。

テーマ：『もっと知ろう！肝臓の生活習慣病』

代表世話人・座長：

信州大学医学部地域医療推進学教室特任教授

田中 榮司 先生

講演Ⅰ講師：信州大学医学部代謝制御学教室准教授

田中 直樹 先生

「放っておいていいの？脂肪肝～NAFLD/NASHの病態と診断」

講演Ⅱ講師：国立病院機構九州医療センター肝臓センター部長

中牟田 誠 先生

「放っておいていいの？脂肪肝～NAFLD/NASHの治療」

### ② 第77回学術講演会の開催

令和元年12月5日午後6時より、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて「第77回学術講演会」を、愛知県医師会の後援を得て開催し、290名余の参加者があった。

テーマ：『血友病治療の今とこれからを考える』

代表世話人・座長：

名古屋第二赤十字病院名誉院長

愛知医療学院短期大学学長

石川 清 先生

講演Ⅰ講師：三重大学医学部附属病院助教輸血・細胞治療部副部長

一般社団法人ヘモフィリア友の会全国ネットワーク代表理事

松本 剛史 先生

「血友病治療の現状と診療ネットワークの構築」

講演Ⅱ講師：医療法人財団荻窪病院薬剤科長

吉見 猛 先生

「血友病治療薬の管理と患者ケアの実態」

### (3) 助成研究成果の発表

研究報告の収録刊行は、平成29年度で助成金を交付した研究者の研究報告を中心に纏め、「医科学応用研究財団研究報告2018VOL. 37」として令和2年3月刊行した。

研究報告は、財団関係者、助成金受領者、全国の大学並びにその他の研究機関に700部余りを配布した。

(4) 情報及び資料の収集、整備（公益目的事業6）

医学、薬学、医工学及び関連諸科学の医療への応用に関する内外の文献、資料の収集に努めた。

2. 資金調達及び設備投資の状況

当期中における設備投資及び借入金・寄附金はありません。

3. 直前5事業年度の財産及び損益の状況

単位：千円単位（千円未満切捨）

事業年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前期繰越収支差額	162,252	144,745	164,685	172,093	172,945
当期収入合計	230,661	240,132	226,199	243,278	258,159
当期支出合計	210,398	220,192	218,791	242,426	248,315
当期収支差額	20,262	19,940	7,408	852	9,844
次期繰越収支差額	144,745	164,685	172,093	172,945	182,790
資産合計	13,773,003	13,478,487	14,822,711	18,464,209	14,064,933
負債合計	12,770	12,770	10,940	10,940	9,030
正味財産	13,760,233	13,465,717	14,811,771	18,453,269	14,055,903

4. 役員会等に関する事項

(1) 理事会の開催

① 令和元年5月8日午後5時30分より名鉄ニューグランドホテルにおいて令和元年度第1回理事会を開催し、次の議案を承認した。

- a. 設立40周年記念講演会について
- b. 平成30年度事業報告について
- c. 平成30年度財務諸表について
- d. 令和元年度・2年度疾患別指定研究助成募集について
- e. 定時評議員会の議案について

② 令和元年6月13日午後5時より、ホテルナゴヤキャッスルにおいて令和元年度第2回理事会を開催し、次の議案を承認した。

- a. 令和元年度調査研究助成募集について
- b. 令和元年度国際交流助成金交付について
- c. 令和元年度心電学助成金交付について
- d. 顧問の選任について

③ 令和元年6月13日午後6時10分より、ホテルナゴヤキャッスルにおいて令和元年度第3回理事会を開催し、次の議案を承認した。

- a. 理事長・常務理事の選定について
- b. 理事会の職務代行者順序について

- ④令和元年10月16日午後5時30分より、名鉄ニューグランドホテルにおいて令和元年度第4回理事会を開催し、次の議案を承認した。
- a. 令和元年度調査研究助成金交付の決定について
  - b. 令和元年・令和2年度疾患別指定研究助成金交付の決定について
- ⑤令和2年3月9日に、理事の全員から書面により同意の意思表示、及び監事の全員から書面により異議が無いとの意思表示を得たので、理事会の決議の省略の方法により次の議案の決議があったものとみなされた。
- a. 令和2年度事業計画について
  - b. 令和2年度収支予算について
  - c. 調査研究助成選考委員の一部選任について
  - d. 令和2年度国際交流助成の募集について
  - e. 臨時評議員会の議案について

## (2) 評議員会の開催

- ①令和元年6月13日午後5時30分より、ホテルナゴヤキャッスルにおいて令和元年度定時評議員会を開催し、次の議案を承認した。
- a. 平成30年度事業報告・財務諸表について
  - b. 評議員の選任について
  - c. 役員の選任について
- ②令和2年3月17日に、評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、臨時評議員会の決議の省略の方法により次の議案の決議があったものとみなされた。
- a. 令和2年度事業計画について
  - b. 令和2年度収支予算について

## (3) 調査研究助成選考委員会の開催

- ①令和元年6月13日午後4時30分より、ホテルナゴヤキャッスルにおいて令和元年度第1回調査研究助成選考委員会を開催し、次の議案を承認した。
- a. 令和元年度選考委員長の選出について
  - b. 令和元年度調査研究助成募集について
  - c. 令和元年度調査研究助成予備審査について
- ②令和元年10月16日午後4時30分より、名鉄ニューグランドホテルにおいて令和元年度第2回調査研究助成選考委員会を開催し、次の議案を承認した。
- a. 令和元年度調査研究助成金の課題別配分及び助成金交付の審査選考について審議し、助成交付金の候補を選出した。

(4) 国際交流助成選考委員会の開催

- ①令和元年5月8日午後5時より、名鉄ニューグランドホテルにおいて令和元年度国際交流助成選考委員会を開催し、次の議案を承認した。
- a. 令和元年度選考委員長の選出について
  - b. 令和元年度国際交流助成の審査選考について審議し、助成交付金の候補を選出した。

(5) 心電学助成選考委員会の開催

- ①令和元年6月13日午後4時より、ホテルナゴヤキャッスルにおいて令和元年度心電学助成選考委員会を開催し、次の議案を承認した。
- a. 令和元年度選考委員長の選出について
  - b. 令和元年度心電学助成の審査選考について審議し、助成交付金の候補を選出した。

### Ⅲ 株式等の保有の状況

24ページの財産目録に記載のとおり。

資料（１）令和元年度調査研究助成金交付

（研究者の所属は令和元年１２月５日現在）

**助成課題１ より豊かな生活に貢献する医療技術に関する研究**

（３１件 ３６００万円） （敬称略、助成額・５０音順）

研究者名	研究テーマ	助成額
順天堂大学 大学院医学研究科 特任教授 中村哲也	体細胞リプログラムで作成した腸上皮オルガノイドを用いる短腸症候群治療	300 万円
名古屋大学 大学院医学系研究科 寄附講座講師 大橋浩二	新規アディポカインを標的とした慢性腎臓病の治療開発	200 万円
東京大学 大学院医学系研究科 特任講師 武田憲彦	心臓拡張不全の病態を評価する血清バイオマーカーの開発	200 万円
九州大学 大学院医学研究院 教授 中島欽一	脳内免疫担当細胞から神経細胞へのダイレクトリプログラミングによる脳梗塞治療法の開発	200 万円
明治国際医療大学 保健医療学部 教授 浅沼博司	遠隔虚血プレコンディショニングによる心不全発症・進展抑止及び心不全改善効果の検討	100 万円
東北医科薬科大学 医学部 准教授 生田和史	先天性サイトメガロウイルス感染に対する迅速・非侵襲的な新規診断法の開発	100 万円
鳥取大学 農学部 准教授 岩崎 崇	新規細胞膜透過ペプチドを利用したエクソソームノックダウン法の開発	100 万円
国立国際医療 研究センター センター長 大曲貴夫	スマートフォンを利用した風邪症候群の疫学調査と流行予測に関する研究	100 万円
藤田医科大学 医学部 主任教授 大宮直木	磁気誘導全消化管カプセル内視鏡の消化管腫瘍抽出率の無作為割付対照比較試験	100 万円
広島大学 大学院医系科学研究科 研究員 岡元拓海	ユビキチンリガーゼ RNF183 が関連した炎症性腸疾患の発症機序解および新規治療薬の開発	100 万円
慶應義塾大学 医学部 特任助教 勝俣良紀	心血管疾患予防に向けた、生体バイオセンサを用いた運動強度の自己管理システムの開発	100 万円
慶應義塾大学 医学部 専任講師 金澤英明	重症心不全に対するヒト iPS 由来心筋球を用いた経カテーテル的冠動脈内投与による新しい心筋再生療法の開発	100 万円
山梨大学 大学院総合研究部 准教授 北間敏弘	拡張現実を用いた脳卒中患者の姿勢・歩行バランス改善のための新たな訓練法の確立	100 万円
慶應義塾大学 理工学部 教授 小茂鳥 潤	チタン製培養ディッシュを利用した連続細胞培養システムの構築	100 万円

研究者名	研究テーマ	助成額
藤田医科大学 医学部 講師 齋藤和由	「医療用自己発電式小型パッチ型心電計の開発と心拍モニタリング中央管理システムの構築」	100 万円
北海道大学病院 助教 杉山 拓	組織の動きと変形に着目した映像解析と手術安全支援システム開発	100 万円
愛知県がんセンター 分野長 田口 歩	高深度血漿プロテオーム解析による新規大腸癌早期診断法の開発	100 万円
札幌医科大学 医学部 准教授 丹野雅也	糖尿病性心筋症に対する新規治療開発：AMPデアミナーゼおよびキサンチンオキシダーゼ阻害による拡張機能障害改善を目指して	100 万円
国立病院機構 東京医療センター 部長 角田晃一	「声門閉鎖不全による誤嚥予測のための、客観的評価指標としての血漿 $\text{p}^{\text{H}}$ 値の臨床的意義確定にむけた、高齢者の基準値の計測」	100 万円
産業技術総合研究所 主任研究員 中村真紀	「歯周ポケット内の持続的な除菌治療のための多機能性ナノ粒子の創製」	100 万円
北海道大学 大学院医学研究院 助教 橋本あり	ARF6 経路が駆動する免疫回避を標的とした難治性膵癌の新規診断・治療技術の開発	100 万円
芝浦工業大学 システム理工学部 教授 花房昭彦	患者の余命改善のため高精度に悪性脳腫瘍を摘出可能な脳腫瘍手術支援システムの開発	100 万円
名古屋大学 環境医学研究所 特任講師 原 雄一郎	機械学習を適用した希少疾患の病因変異同定法の開発	100 万円
名古屋大学 大学院医学系研究科 教授 日比英晴	細胞治療の実現化に向けたアドヒーズ・スキャホールドの開発	100 万円
国立精神・ 神経医療研究センター 室長 堀 弘明	内分泌・炎症系の概日リズム解析によるメンタル不調の個別化予防法開発	100 万円
名古屋大学 脳とこころの研究センター 特任教授 前澤 聡	中枢神経疾患における早期診断・病態解析の為にビッグデータを基盤とした脳内神経回路個人解析システムの開発	100 万円
九州大学病院 別府病院 教授 三森功士	生活習慣病による QOL 遡減を予防するための遺伝子多型解析と IT 技術を用いた地域管理システムの構築	100 万円
滋賀大学 データサイエンス学部 准教授 村松千左子	AI 技術を用いたビッグデータ解析による緑内障リスク推定	100 万円
京都大学 大学院医学研究科 講師 山口 建	がんトータルケアを目指した、AI 技術を用いたウェアラブルデバイスの開発	100 万円
国立病院機構 鹿児島医療センター 医師 吉永正夫	小児期心筋症の心電図学的抽出基準、心臓超音波学的診断基準の作成と遺伝学的検査を反映した診療ガイドライン作成に関する研究	100 万円
国立がん研究センター 主任研究員 吉本光喜	高エネルギーアルファ線核種を利用した難治性膵癌に対する革新的核医学治療の開発	100 万円

助成課題2 生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究  
(53件 7100万円)(敬称略、助成額・50音順)

研究者名	研究テーマ	助成額
岐阜大学 工学部 教授 池田 将	がんを感知し Turn-ON 型に機能が発現する人工機能化核酸の開発	200 万円
京都大学 大学院薬学研究科 助教 市村敦彦	エネルギー代謝調節における遊離脂肪酸受容体 GPR120 の脂肪組織特異的な生理機能の解明	200 万円
理化学研究所 チームリーダー 伊藤 薫	潜在的心筋症遺伝子多型による心不全増悪機構の解明	200 万円
東北大学 大学院薬学研究科 助教 宇田川 剛	異常タンパク質蓄積によるアポトーシス誘導機構および神経変性の分子機構の解明	200 万円
東京大学 定量生命科学研究所 准教授 岡崎一美	生活習慣病の発症・進展における抑制性免疫補助受容体の機能の解析	200 万円
名古屋大学 医学部附属病院 病院助教 加藤勝洋	遺伝子改変マウスを用いた間葉系幹細胞による血管新生ダイナミクスの生体内解析	200 万円
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 助教 菊地晃一	腸内細菌および、その産生物質を介した糖尿病性腎臓病の新規治療法の開発	200 万円
北海道大学 大学院薬学研究院 助教 鍛代悠一	がん免疫の活性化を誘導する新規薬剤の開発	200 万円
甲南大学 理工学部 教授 久原 篤	接触刺激と体の温度への適応の相関性の解析	200 万円
島根大学 医学部 講師 小谷仁司	新たな早期癌治療法開発を目指した核内受容体 NR2F6 の生体内制御分子の探索	200 万円
北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授 園下将大	膵臓がん発生を促進する代謝経路の同定とそれに立脚した新規治療法の開発	200 万円
東京大学 医学部附属病院 講師 高田龍平	生理的な腎外尿酸輸送を担う新規尿酸トランスポーター分子の同定	200 万円
東京大学 医学部附属病院 特任講師 西 裕志	尿毒素及びマイオカインに着目した尿毒症サルコペニアの病態・拮抗機転の解明	200 万円
大阪大学 免疫学フロンティア 研究センター 特任准教授 西川恵三	骨粗鬆症の予防を目指したエピゲノム創薬の研究	200 万円
新潟大学研究推進機構 准教授 松井秀彰	アフリカメダカは加齢に伴う生活習慣病の新たなモデルとなる	200 万円
同志社大学 生命医科学部 助教 三田雄一郎	内存性 antisense RNA による Selenoprotein P 翻訳抑制機構の解明及び糖尿病治療への応用	200 万円

研究者名	研究テーマ	助成額
京都大学 大学院医学研究科 特定助教 森本和志	プロスタグランジン受容体を標的とした糖尿病治療薬の開発	200 万円
岐阜大学 大学院医学系研究科 教授 矢部大介	グルコース応答性転写因子 ChREBP による膵β細胞増殖制御の分子基盤の解明	200 万円
京都府立医科大学 助教 浅岡希美	強迫的な飲酒への固執を改善するアルコール依存症の新規治療ターゲットの探索 - 『やめたくてもやめられない』を改善する鍵としての活性酸素産生酵素 NOX1 -	100 万円
公益財団法人 微生物化学研究会 上級研究員 阿部 光	安全性に優れた新規ミトコンドリア呼吸鎖酵素 complex I 阻害剤の医薬開発研究	100 万円
金沢大学 新学術創成研究機構 助教 稲葉有香	2 型糖尿病における肝臓糖取り込み障害の分子機構とその役割の解明	100 万円
新潟大学 大学院医歯学総合研究科 特任助教 井上敬一	マイトファジー不全仮説にもとづいたパーキンソン病モデル動物の作製	100 万円
東京大学 大学院医学系研究科 特任助教 井上 剛	腎臓病における自律神経刺激の治療的効果に関する研究	100 万円
岐阜薬科大学 准教授 遠藤智史	新規アンドロゲンシグナルに着目した女性特有がん増殖の分子機構の解明と創薬応用	100 万円
大阪大学 微生物病研究所 教授 岡本 徹	膜内プロテアーゼによる肝疾患発症の分子機序の解明	100 万円
順天堂大学 大学院医学研究科 助教 加賀英義	非肥満健康成人における高脂肪高カロリー食によるインスリン抵抗性発症メカニズムの検討	100 万円
大阪大学 微生物病研究所 助教 金井祐太	人工合成技術によるロタウイルス感染性胃腸炎発症機序の解明	100 万円
神戸大学 大学院医学研究科 講師 金川 基	GAL3BP によるアルツハイマー病治療効果の検証	100 万円
大阪大学 大学院医学系研究科 特任助教 木嶋教行	悪性脳腫瘍における循環腫瘍細胞の評価とリキッドバイオプシーの可能性についての検討	100 万円
熊本大学 発生医学研究所 助教 北嶋康雄	加齢性筋肉減弱症の病態解明における骨格筋幹細胞の基礎的研究	100 万円
東京大学 大学院医学系研究科 助教 佐藤弘泰	細胞外リン脂質代謝による脂肪細胞のベージュ化機構の解明	100 万円

研究者名	研究テーマ	助成額
山口大学 大学院医学系研究科 講師 柴田健輔	全ての大腸ガン患者の治療を目的とした免疫療法のための創薬研究	100 万円
慶應義塾大学 医学部 准教授 下田将之	慢性炎症・炎症性発癌制御に関わる生体内ヒアルロン酸代謝機構の解明と創薬の探索・開発研究	100 万円
東北大学 大学院薬学研究科 助教 菅原章公	ケイ素原子を基盤とした天然物様新規骨格構築の新戦略と創薬展開	100 万円
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 助教 鈴木志穂	歯周病菌に対するイソフラマソーム応答と病態発現の分子機構	100 万円
旭川医科大学 医員 竹田安孝	糖代謝における 'short-form' GIP の役割の解明	100 万円
弘前大学 大学院保健学研究科 講師 千葉 満	非アルコール性脂肪性肝炎の超早期診断が可能な新規血中エクソソームバイオマーカーの探索	100 万円
北海道大学 大学院獣医学研究院 助教 戸田知得	新規・脳内因子による糖尿病改善作用機序の解明	100 万円
信州大学 医学部 助教 中嶋岳郎	核内受容体 PPAR $\alpha$ を標的とした認知症予防法の開発 - 脳のアンチエイジングに挑む -	100 万円
熊本大学 大学院先端機構 准教授 中村照也	阻害剤の合理的設計を目指した抗がん剤標的酵素の構造生物学的研究	100 万円
京都大学 大学院医学研究科 特定准教授 平野恭敬	老化に伴う器官機能不全を可視化する病態モデル開発	100 万円
小松大学 保健医療学部 教授 平山 順	睡眠促進ホルモン、メラトニンの代謝を調節する生理活性物質としての機能	100 万円
芝浦工業大学 システム理工学部 准教授 廣田佳久	脳神経の再生を目指したビタミン K による神経幹細胞分化誘導機構の解明	100 万円
国立循環器病研究センター 室長 堀 美香	本邦特有 PCSK9 遺伝子変異の重症家族性高コレステロール血症の病態への寄与の解明	100 万円
京都大学 医学部附属病院 助教 堀江貴裕	コレステロールにより制御される長鎖 non-coding RNA の機能解析	100 万円
京都大学 大学院農学研究科 助教 松村成暢	新規糖尿病抑制因子 CRTCL1 による体内グルコース恒常性機構の解明	100 万円
東京慈恵会医科大学 講師 的場圭一郎	糖尿病腎症の新規治療法確立へ向けた ROCK1 シグナル機構の解明	100 万円
千葉県がんセンター 研究員 丸 喜明	卵巣高異型度漿液性癌に対するオルガノイド発がんモデルの確立とそれを用いた治療標的の探索	100 万円

研究者名	研究テーマ	助成額
産業技術総合研究所 主任研究員 室富和俊	長鎖ノンコーディング RNA H19 を介した神経発生制御機構解明と精神・神経疾患発症に及ぼす影響の検討	100 万円
愛知医科大学 医学部 助教 森下啓明	小胞体ストレス下における CIDE-A の発現調節の解明	100 万円
昭和大学 医学部 講師 森戸大介	もやもや病と脂質代謝の相関、病態モデルの作製	100 万円
名古屋大学 環境医学研究所 特任助教 山口裕嗣	近赤外光を用いた脂肪細胞特異的 cAMP シグナリング操作による肥満治療法の開発	100 万円
国立病院機構 東京医療センター 医員 山澤一樹	DOHaD 説に立脚した不当軽量(SGA)児の頬粘膜メチル化解析による生活習慣病バイオマーカーの開発	100 万円

## 資料（２）令和元年度分 疾患別指定研究助成金交付

（研究者の所属は令和元年 8 月 31 日現在）

（2 件 1,000 万円）（敬称略）

### 1. 「中枢性尿崩症の病態解明に関する研究」

代表研究者名	研究テーマ	助成額
名古屋大学 大学院医学系研究科 教授 有馬 寛	家族性中枢性尿崩症の発症機構の解明	500 万円

### 2. 「肥満脂肪病態の解明とその治療～メタボリックシンドロームを中心に～」

代表研究者名	研究テーマ	助成額
大阪大学 大学院医学系研究科 教授 下村伊一郎	メタボリックシンドロームの病態形成因子の研究	500 万円

## 資料（３）令和元年度国際交流助成金交付

### 1. 国際シンポジウム開催助成

#### （１）

申請者	愛知学院大学心身科学部健康科学科 准教授 早川統子
名称	第 59 回日本先天異常学会 The 13th World Congress of the International Cleft Lip and Palate Foundation-CLEFT2019-合同学術集会
助成額	100 万円

(2)

申請者	徳島文理大学薬学部病態分子薬理学研究室 教授 深田俊幸
名称	第6回国際亜鉛生物学会学術集会
助成額	100万円

2. 二国間国際共同研究助成

(1)

申請者	和歌山県立医科大学生化学講座 講師 西辻和親
名称	細胞外硫酸化糖鎖の酵素的リモデリングを用いた新たなアミロイドーシス治療戦略
助成額	100万円

3. 二国間学術交流集会開催助成

(1)

申請者	東海学園大学 副学長 大塚隆信
名称	日蒙医学歯学交流集会
助成額	100万円

(2)

申請者	京都大学化学研究所物質創製化学研究系精密有機合成化学 教授 川端猛夫
名称	第8回 日中若手のための有機化学シンポジウム
助成額	100万円

資料(4) 令和元年度心電学助成金交付

申請者	東海大学医学部附属八王子病院循環器内科 教授 小林義典 帝京大学医学部附属病院溝口病院第四内科 教授 村川裕二
使途内容	第66回日本不整脈心電学会学術大会 講師招聘費用、優秀論文発表者研究助成金
助成額	150万円

## 事業報告の附属明細書

- (1) 理事・監事・評議員の兼職の状況  
事業報告 1 から 2 ページに記載のとおり。